

水道事業の現状について

令和5年6月
飯田市上下水道局

1 水道事業の概要

1. 水道施設の整備状況

市内の水道管の総延長は約1,180kmであり、飯田市から北海道宗谷岬までの距離に匹敵します。

中山間地域に集落が点在し、多数の水道施設とそれらを結ぶ水道管が布設されています。



令和3年度末の状況

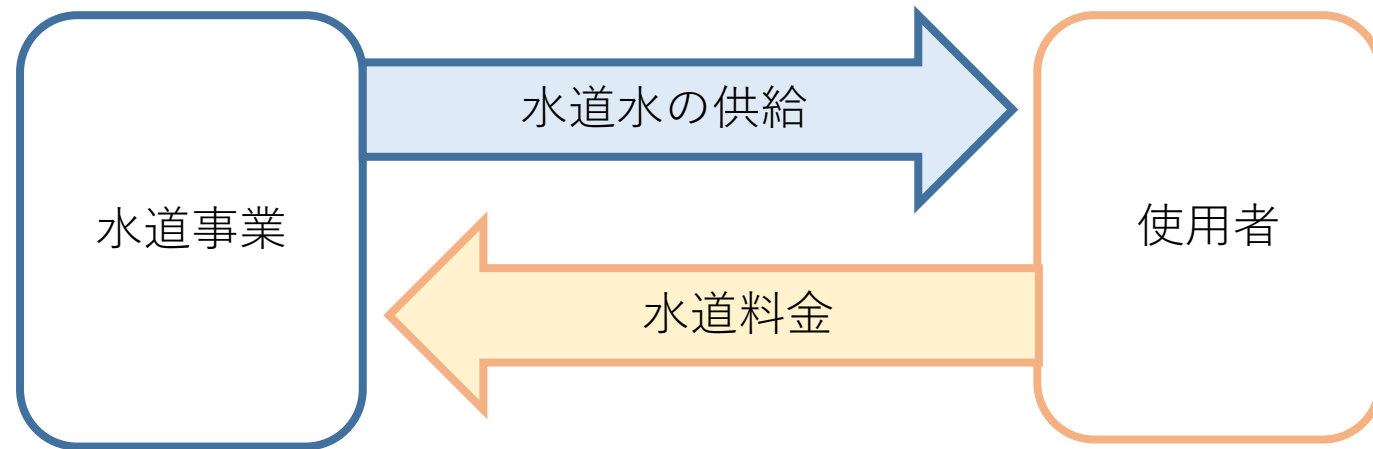
給水人口 (水道を使用している人数)	96,969人
給水栓数	45,240栓
年間総配水量	約1,090万 m^3 (25mプールで約18,000個分)
年間給水量	約941万 m^3 (25mプールで約15,600個分)
普及率	99.3%

1 水道事業の概要

2. 水道事業の経営原則

水道事業は、皆さんからいただく水道料金収入によって、経営に必要な経費をまかなう**独立採算制**を基本として経営しています。

原則として、税金は使われていません。水道料金と下水道使用料は別の会計で経理しています。



水道料金は、「**公正妥当**なものでなければならず、かつ、能率的な経営の下における**適正な原価**を基礎とし、地方公営企業の**健全な運営を確保**することができるものでなければならない」とされています。

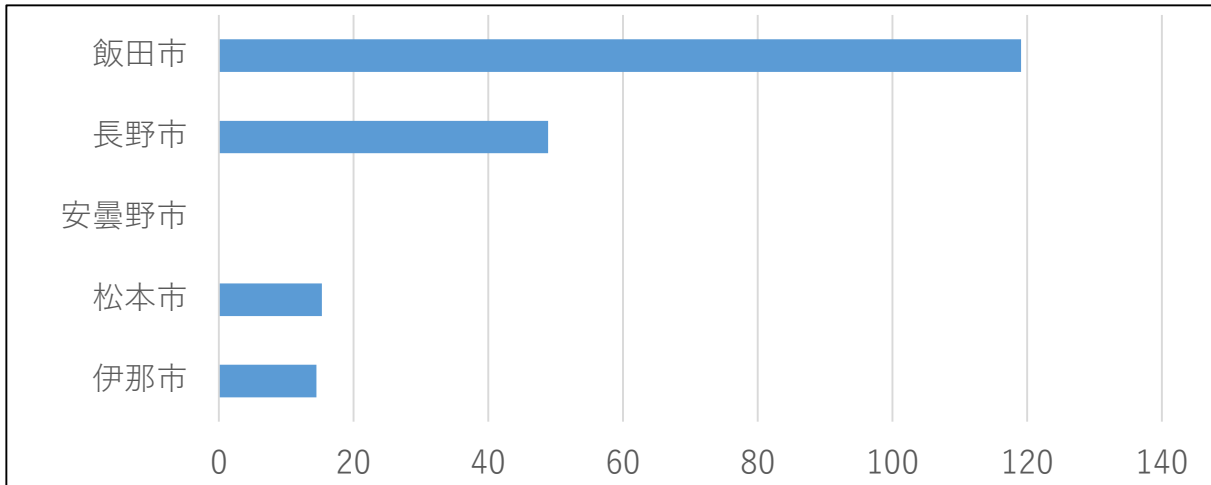
独立採算の例外

企業運営に要する経費のうち、その性質上企業経営に伴う収入をもって充てることが適当でない経費は、税金でまかさないです。（例）消火栓の設置及び維持に係る費用など

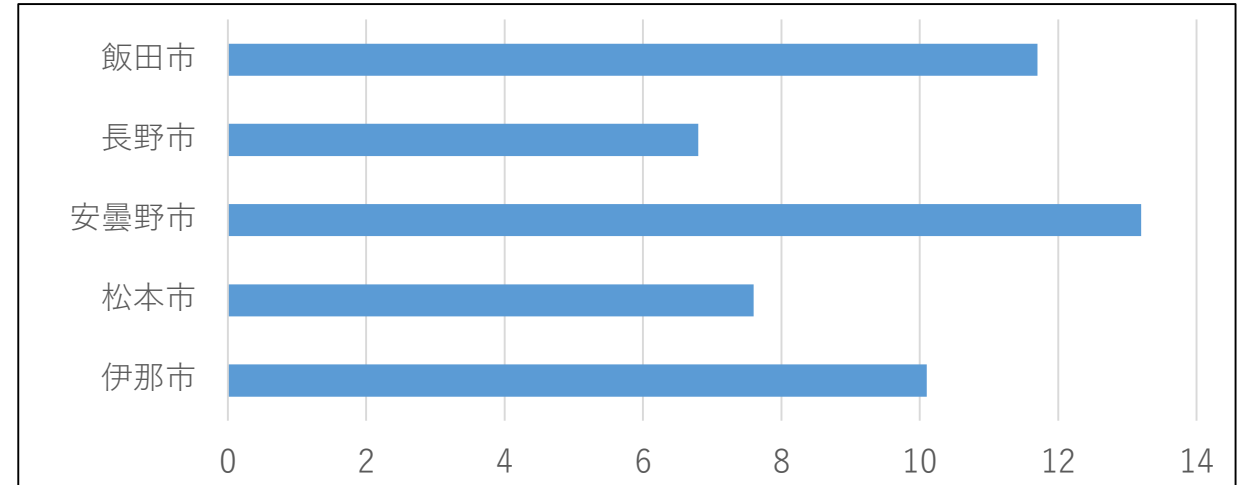
2 水道事業の現状

1. 水道事業の現状（上水道事業他市との比較）

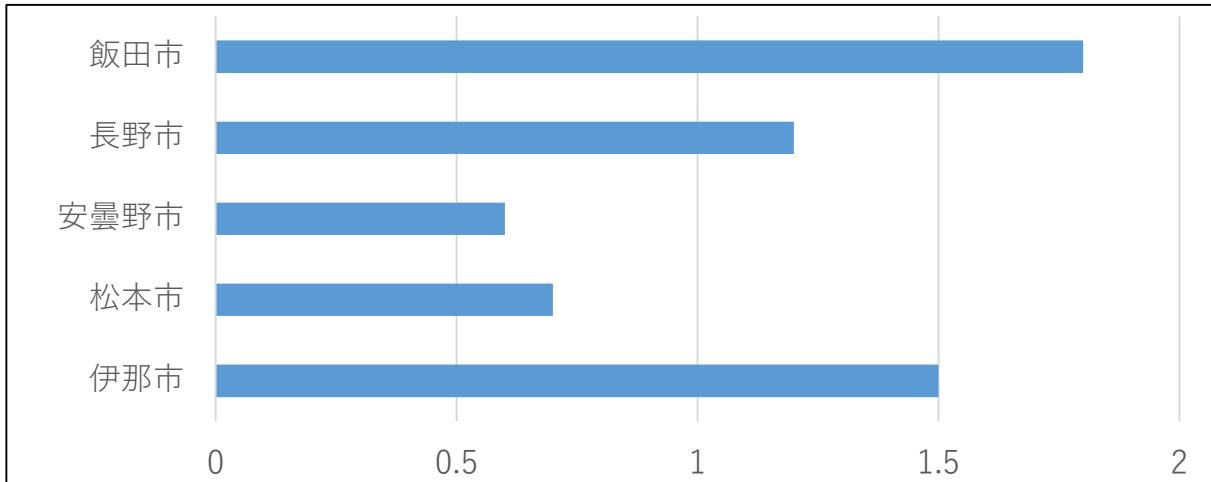
給水人口一人当たりのろ過浄水量（m³）



給水人口一人当たりの管路延長（m）



給水人口1,000人当たりの配水池数（池）



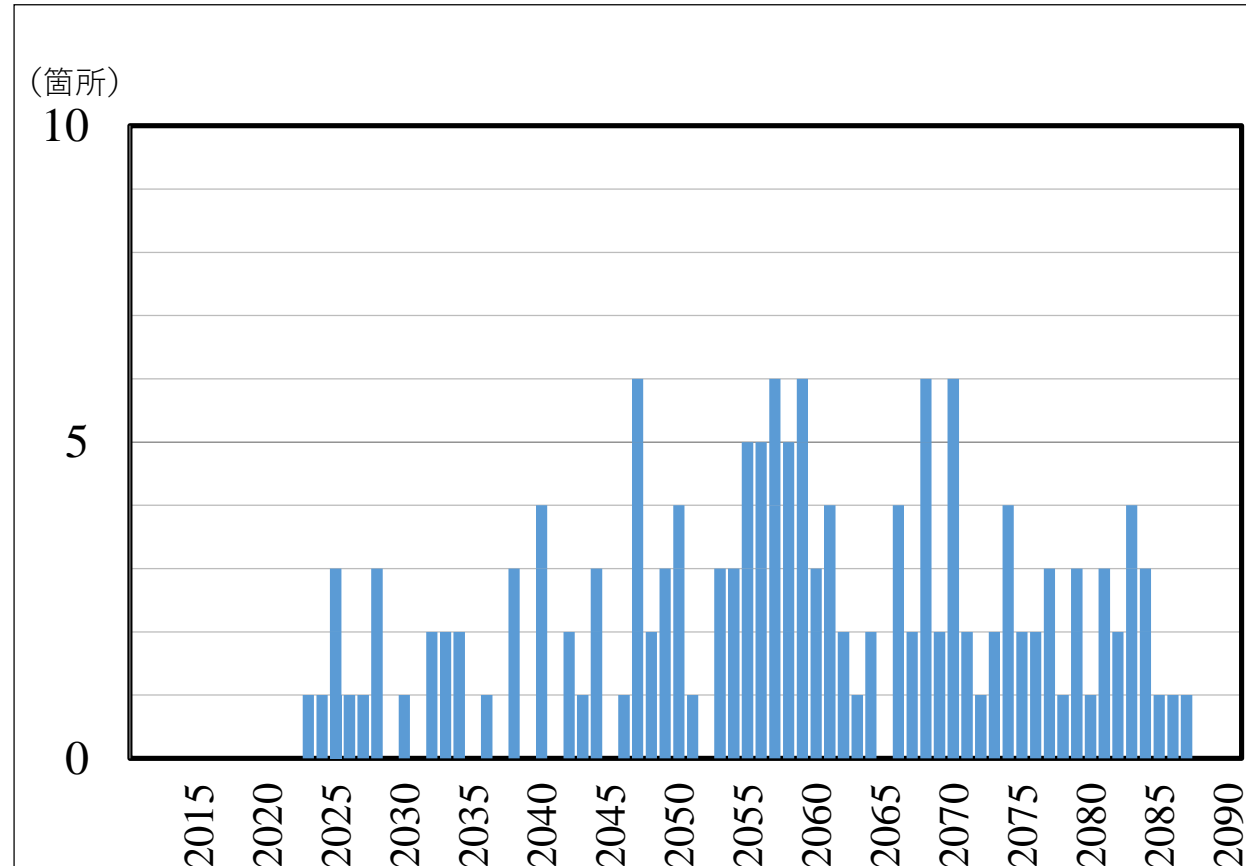
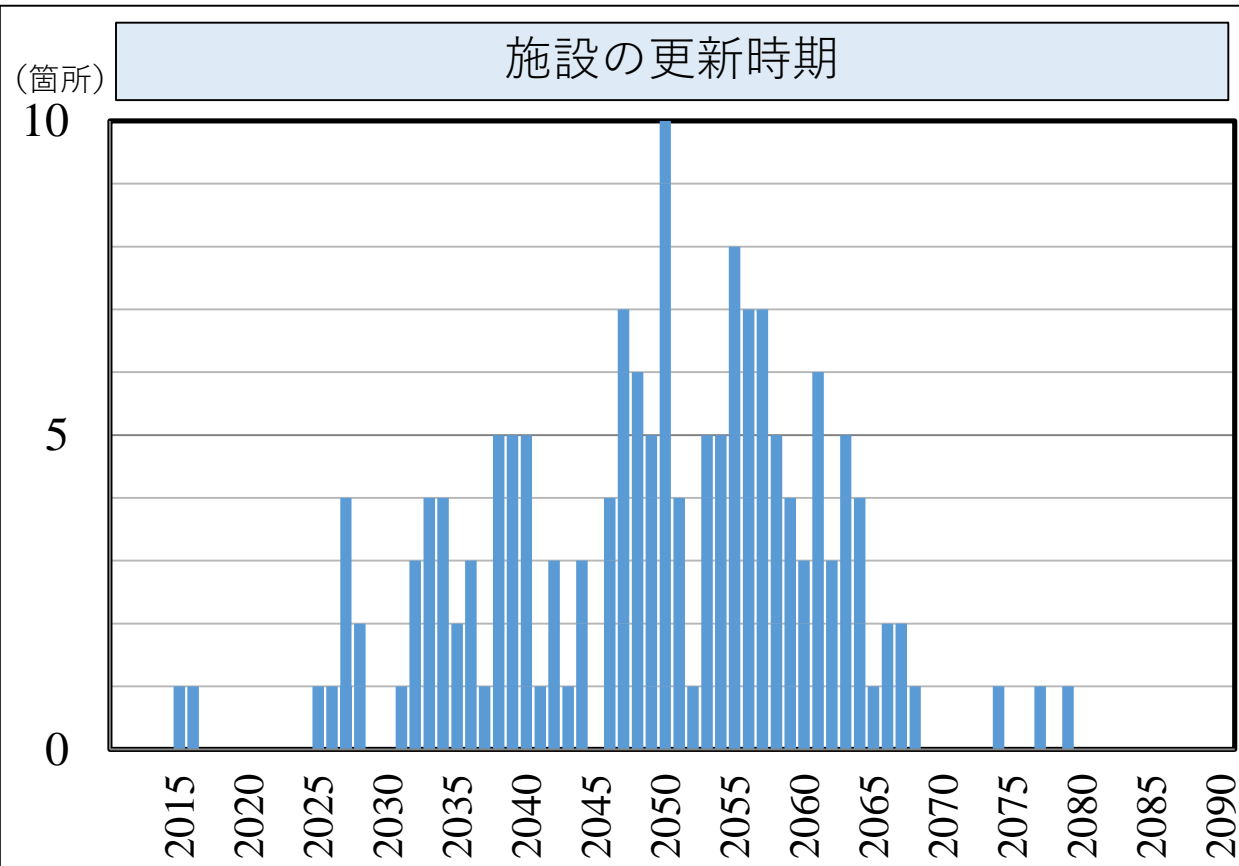
飯田市水道事業の特徴

- ・ 河川水、伏流水をろ過して水道水をつくっているため浄水コストが高くなっています。
- ・ 市域内で標高差が大きいいため、水道事業を運営するための地勢が恵まれていません。
- ・ 中山間地域に集落が点在し、多数の水道施設と管路を有しています。
- ・ そのため、給水人口1人当たりの施設負担が大きいです。

2 水道事業の現状

2.水道施設の現状（施設の更新時期）

- ・施設の更新にあたっては、統合、ダウンサイジング、廃止等を検証し、適切な規模で効率的に更新していく必要があります。
- ・また、使用実績や構造物の劣化度調査結果等に基づく実耐用年数を設定し、計画的に更新を行っていかねばなりません。



施設数を減らし、更新時期の見直しをすると

2 水道事業の現状

2.水道施設の現状（施設、管路を更新しないと…。）

配水管や水管橋の漏水



上郷北条 配水管φ100漏水



毛賀 水管橋φ100漏水

貯水池、配水池のひび割れ状況



風越貯水池



天竜峡配水池

- ・施設更新や耐震化を進めていかないと、市民のみなさんが、いつどんな時でも水道水を「当たり前」に使うことができなくなってしまいます。
- ・しかしながら、施設の更新や耐震化の財源となる水道料金収入は減少傾向にあり、経営環境はより一層厳しいものになってきています。

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

水道事業を持続可能なものとしていくために、中長期的な視野に立ち施設更新を実施しなければなりません。水道局では、令和5年度から令和28年度までの建設改良計画を策定し、順次施設更新を実施します。

R 5 ～R28建設改良費 総額 471億円

(事業計画 (抜粋))

事業名	事業年度	事業費 (千円)	事業名	事業年度	事業費 (千円)
妙琴浄水場更新事業	R 5 ～R25	11,159,279	天竜峡配水池更新事業	R13～R16	345,000
上町浄水場更新	R 5 ～R 7	110,000	伊賀良中区配水池更新	R17～R20	624,950
下栗浄水場更新	R 5 ～R 6	110,000	下黒田配水地更新事業	R24～R27	951,400
入野・大瀬木配水池更新	R 5 ～R10	964,750	龍江低区配水池更新事業	R25～R28	288,400
砂払第1配水池更新事業	R10～R13	616,000	西部山麓中継ポンプ場整備事業	R6～R8	1,306,800

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

浄水場や老朽管等の水道施設は、水を止めずに造り替えていくため、時間と費用と手間がかかります。

建設改良計画 (浄水施設)



- ・ 妙琴浄水場更新事業
- ・ 令和5年度～令和25年度
- ・ 事業費 11,159,279 (千円)



- ・ 上町浄水場更新
- ・ 令和5年度～令和7年度
- ・ 事業費 110,000 (千円)



- ・ 下栗浄水場更新
- ・ 令和5年度～令和6年度
- ・ 事業費 110,000 (千円)

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

建設改良計画 (配水施設)



- ・ 入野・大瀬木配水池更新事業
- ・ 令和5年度～令和10年度
- ・ 事業費 964,750 (千円)



- ・ 時又配水池更新
- ・ 令和5年度～令和6年度
- ・ 事業費 60,000 (千円)

- ・ 上郷第1配水池更新事業
- ・ 令和5年度
- ・ 事業費 263,815 (千円)

- ・ 沢城配水池更新事業
- ・ 令和7年度～令和10年度
- ・ 事業費 219,300 (千円)

- ・ 砂払第1配水池更新事業
- ・ 令和10年度～令和13年度
- ・ 事業費 616,000 (千円)

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

建設改良計画 (配水施設)



- ・伊賀良低区配水池更新事業
- ・令和15年度～令和18年度
- ・事業費 956,000 (千円)



- ・伊賀良中区配水池更新
- ・令和17年度～令和20年度
- ・事業費 624,950 (千円)

- ・上郷第4配水池更新事業
- ・令和12年度～令和13年度
- ・事業費 394,350 (千円)

- ・天竜峡配水池更新事業
- ・令和13年度～令和16年度
- ・事業費 345,000 (千円)

- ・龍江配水池更新事業
- ・令和24年度～令和27年度
- ・事業費 339,000 (千円)

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

建設改良計画 (配水施設)



- ・ 駄科配水池更新事業
- ・ 令和22年度～令和25年度
- ・ 事業費 508,800 (千円)



- ・ 龍江低区配水池更新
- ・ 令和25年度～令和28年度
- ・ 事業費 288,400 (千円)

- ・ 下黒田配水池更新事業
- ・ 令和24年度～令和27年度
- ・ 事業費 951,400 (千円)

- ・ 滝の沢・押洞第2配水池更新事業
- ・ 令和25年度～令和28年度
- ・ 事業費 357,600 (千円)

- ・ 正永寺原第1・2配水池更新事業
- ・ 令和25年度～令和28年度
- ・ 事業費 272,200 (千円)

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

建設改良計画 (貯水・送水施設)



- ・西部山麓中継ポンプ場整備事業
- ・令和6年度～令和8年度
- ・事業費 1,306,800 (千円)

- ・沢城中継ポンプ場整備事業
- ・令和5年度～令和7年度
- ・事業費 163,500 (千円)

- ・今宮中継ポンプ場整備事業
- ・令和8年度～令和9年度
- ・事業費 108,000 (千円)

- ・風越貯水池耐震補強事業
- ・令和5年度～令和8年度
- ・事業費 224,000 (千円)

2 水道事業の現状

3.建設改良計画の策定

建設改良計画 (管路)



- ・ 基幹管路耐震化事業
- ・ 令和5年度～令和28年度
- ・ 事業費 3,600,000 (千円)



- ・ 遠山簡水配水管更新
- ・ 令和5年度～令和28年度
- ・ 事業費 216,000 (千円)

- ・ 老朽管更新事業
- ・ 令和5年度～令和28年度
- ・ 事業費 15,960,000 (千円)

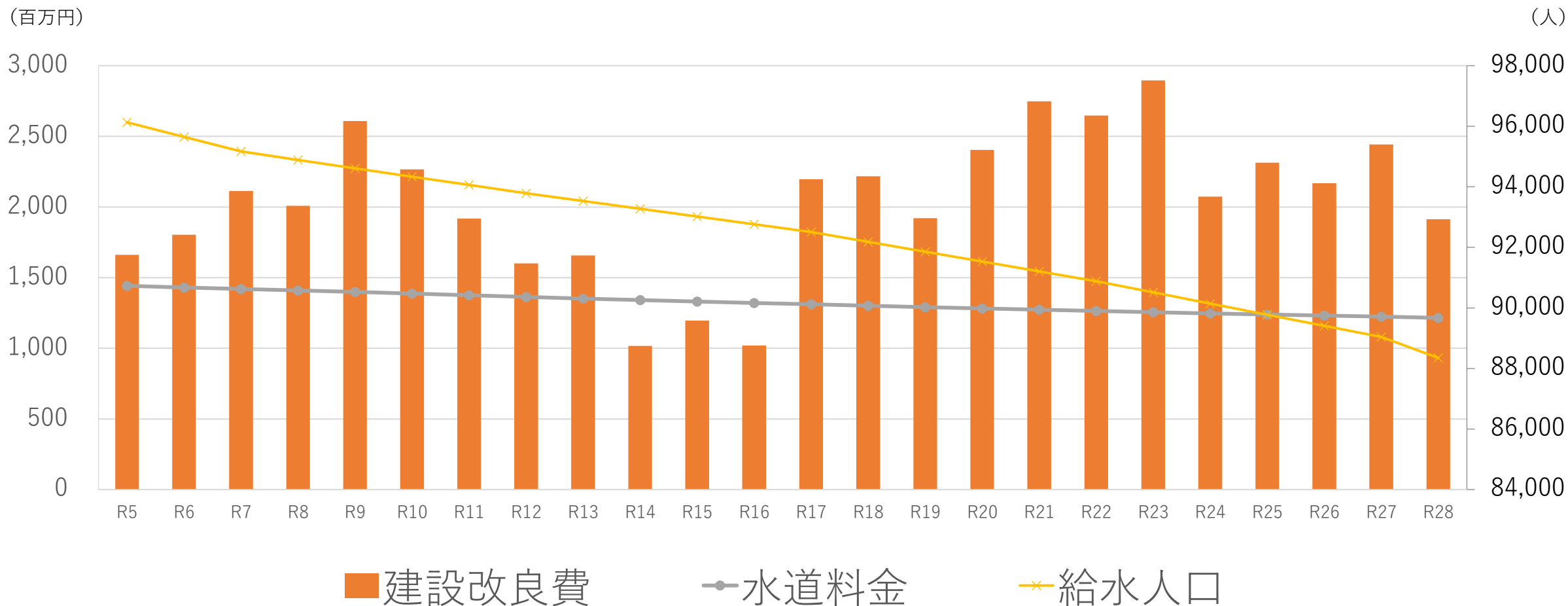
- ・ 送配水管布設事業
- ・ 令和5年度～令和28年度
- ・ 事業費 1,263,015 (千円)

- ・ 他事業関連
- ・ 令和5年度～令和28年度
- ・ 事業費 2,335,949 (千円)

2 水道事業の現状

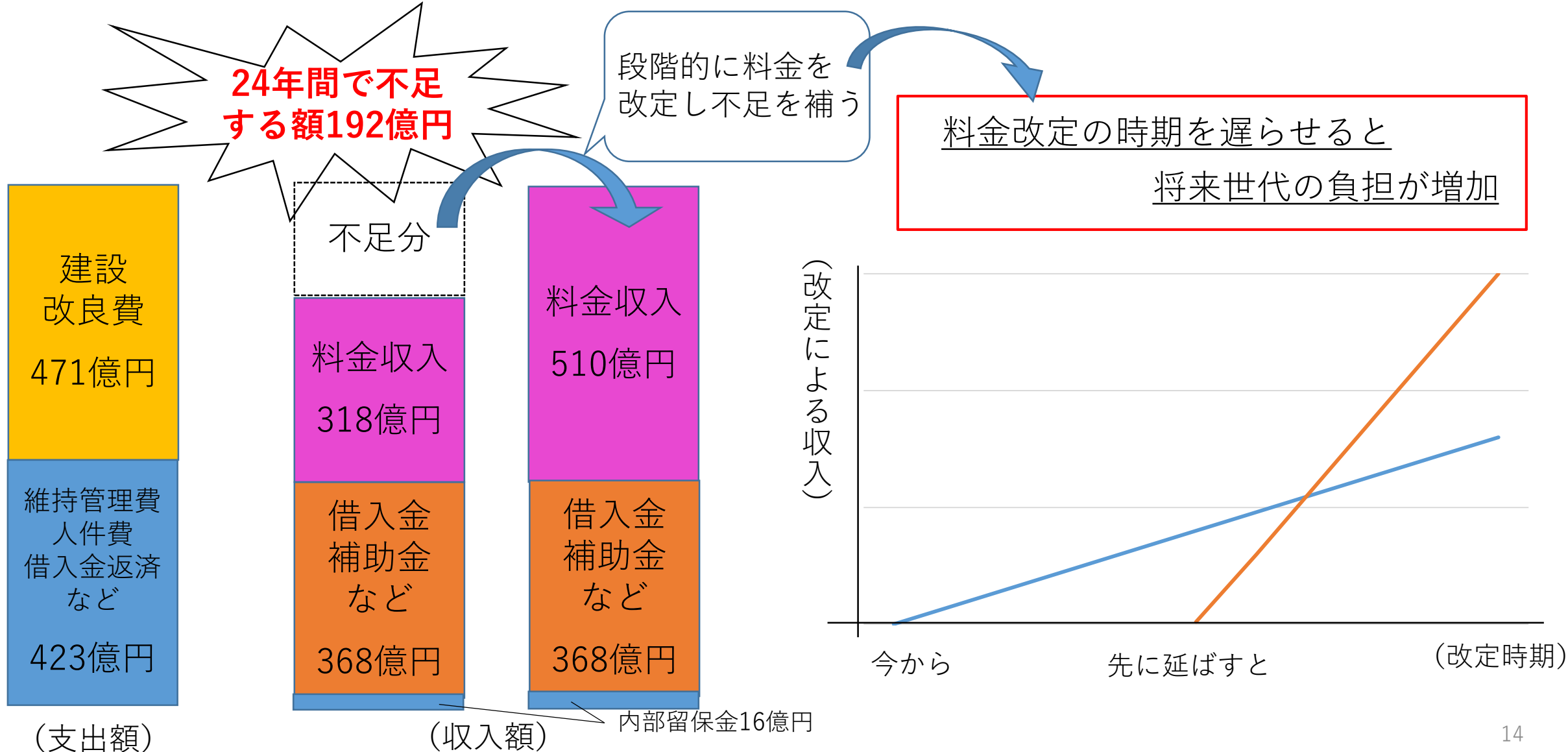
4 .料金収入の推移

給水人口は減少する予測であり、料金収入も減少する見通しです。



2 水道事業の現状

5. 今後24年間の現金収支見込（令和5年度から令和28年度まで）



蛇口をひねれば、いつでも安全でおいしい水が飲める。

- 「この当たり前前のこと」を、「当たり前前毎日続ける」ためには、古くなった施設や設備の更新を「今ここから」始めなくてはなりません。
- **子どもや孫の将来世代に引き継いでいく**ためにも現世代の責任として、**料金改定**を行うものです。
- ご理解くださいますようお願いいたします。